



高橋さん 9年間 お疲れさまでした！
ROBA東京事務所所長として
これからもよろしく願いたします

● 2～3ページ 関連記事

活動報告

- 6月21日 越前町・かれい崎福鉄バスツアー
- 22日 事務局会議（MW&CFD対応）
- 27日 「福井のまちづくりを考える」フォーラム
- 27日 事務局会議（MW&CFD対応）
- 7月4日 事務局会議（MW&CFD対応）
- 5日 シンポ「交通と環境」公共交通進化論（金沢）
- 8日 第4回MW&CFD実行委員会
- 8日 福井市地域生活交通活性化会議
- 10日 IRE&都市化研究公室合同研究会
- 17日 ROBA例会・理事会

今後の予定

- 7月22日（水）第5回MW&CFD実行委員会
- 7月24日（金）事務局会議（MW&CFD対応）
- 8月1日（土）事務局会議（MW&CFD対応）
- 8日（土）事務局会議（MW&CFD）
- 21日（金）ROBA例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

社会をつくる自由 - 反コミュニティのデモクラシー 竹井隆人
ちくま新書 700円＋税 ISBN978-4-480-06475-2 C0231

政府系金融機関職員の著者が、社会のあり方そのものを問う「哲学書」である。しかし、エリアマネジメント、コミュニティなど、最近の都市計画の流行を問い直す基礎理論として、都市計画の実践家にも読んで頂きたい本である。今後地方公共団体の財政悪化の中で、地区ごとの社会資本の管理、防犯等における地域コミュニティの役割は大きくならざるを得ないが、各個人が社会のあり方を客観的に見続けないと、自ら選んだ隷属が待っているという警告の書である。社会のあり方自体を考えたことがない人にとっては難解な本であるが、ここの字数では書ききれない含蓄のある本なので是非お読み頂きたい。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

福鉄バスかれい崎ツアー報告

6月21日（日曜日）に、越前町かれい崎への福鉄バスツアーを実施し、内田、畑、高橋、塚谷、鳥居の5名が参加しました。このツアーは路線バスにも利用できる福井鉄道株主優待券を有効活用しようとして企画したもので、武生新からの所要時間が1時間以上、運賃も1000円以上する路線バスは、このような企画でもない限りなかなか乗る機会はないと思います。



（往路のバス車内）



（かれい崎到着後）

バスは武生新の駅前乗り場を10:00に出発し、国道365号線を通って旧宮崎村、旧織田町の集落を経由した後、旧越前町梅浦地区から国道305号線を海岸沿いに南下して終点かれい崎に到着しました。一般のお客さんは5人程度で、旧越前町内まで乗っていたのは1人だけでした。心配していた天気も雨に降られることなく快晴で、バスを降りてからしばらく周辺を散策し、海沿いの景色を眺めていました。国民宿舎かれい崎荘で食事をした後、宿舎に隣接する露天風呂日本海で入浴しましたが、それでも帰りのバス(15:30)までは十分時間があるので、休憩室のテーブルを囲んでカーフリーデーの打ち合わせも出来ました。



（かれい崎バス停）





（昼食の刺身定食）



（帰路のバス）

帰路のバスは、往路よりも一般のお客さんがさらに少なく、ほとんど ROBA の貸切状態でした。途中の織田バスターミナルで時間調整する際に、親切にも運転手さんが我々に声をかけてバスから降りてくださり、織田信長の銅像前で記念撮影していただきました。ところが、バスターミナル発車後「両替されるなら今のうちにどうぞ。1人1080円です。」と言われたので、「これは優待券で下車する時の反応が怖い。最悪使えませんかと言われたらどうしよう。」と皆心配しましたが、少々不機嫌な反応があっただけで、問題なく降ろしていただきました。この日の乗務日報には、おそらく特記事項として「始発から終点まで福鉄の株主優待券で5名のグループが乗車」の報告が書かれていることでしょう。



（織田バスターミナルで記念撮影）



今回乗ったバスは生活路線の意味合いが強く、レジャー客にも利用してもらうには所要時間の長さと運賃の高さがネックになって難しいと思います。しかし、単純に運賃を割り引くのは無理でも、例えば沿線の施設利用クーポン券 2000 円分とセットにして、武生新からの往復割引きっぷを 3000 円程度で売り出せば、車を持っていても急カーブや急勾配の道を運転したくない人から支持されないでしょうか。

（報告 / 鳥居）

J R 森田駅活用第 1 回ワークショップ 開催 090620

「車に頼らない、人にやさしいまちづくり」 part 2

H 2 1 年度、森田地区文化委員会では、昨年に引き続き「車に頼らない人にやさしいまちづくり」の取り組みを行なうことになった。今年度の協働相手は仁愛短期大学内山教室の皆さん。若い視点からまちづくりの提案を期待し、第 1 回 J R 森田駅活用第 1 回ワークショップを行なった。



● W S 前に行なわれた J R 森田駅視察



● 柳沢数一氏

参加者 9 0 名を 8 班に分け、自己紹介に続き、J R 森田駅無人化阻止に尽力された柳沢数一氏から森田駅今昔の話しをしていただいた。私からは J R 森田駅利用者アンケート（0 8 年 7 月実施）による住民の声を紹介しグループ別に駅の改善点と活用アイデアを話し合った。アイデアは実現性は低くても、夢を含め森田地区住民と学生とわいわい楽しく話し合った。



● 5 班のメンバー



● 各班発表

私が所属した 5 班では、「コンビニ売店がほしい」「大きなテレビがほしい」「カラオケ・居酒屋がほしい」「犬や猫を飼って動物園にしよう」「駅周辺を明るく」「1 日単位の駐車場がほしい」などのアイデアが出された。終始、学生パワーに圧倒されたワークショップでした。

次回は 7 月 2 0 日（祝・月）。実現可能なアイデアを絞り込み、企画書作成を行なう予定。

報告 / 林照（森田地区文化委員会副委員長）

金沢・LRTと暮らしを考える会主催のシンポジウムに参加して 090705

「交通と環境」公共交通進化論 「LRTが金沢の環境と暮らしを変える」 その1 林 博

梅雨の（本来なら）合間の、むせかえるような日差しの中、大西さんお勧めの近江町バス停と再開発を見ながら、富山駅前須田ビル再開発や福井の御屋形再開発に比べて昔の市場の雰囲気を残せたんだなと感心しつつも、昼飯は小奇麗になった店には何となく入りにくくウロウロして、やっぱり昔ながらのあまりきれいでない店の荒汁付きに、やはりこれだ！と感動に涙しながら食べていたら、スケジュールが早められていて、石川県文教会館に着いたときには谷内さんの挨拶が始まってしまっていました。



基調講演の宇都宮浄人さんは、ポートランドがバスのトランジットモールをLRTのそれに切り替えたことで、LRTだけでなくそれに連結するバスの利用客も増えたというデータを示してくれ、「基幹軸の信頼性が高くなることで地域の公共交通全体が良くなる」という、福井のことを言っているように感じました。金沢の会の成果発表「まちと暮らしをデザインする」では、今度さんは前回の発表のおさらいを今度も、谷内さんは得意の市内LRTイメージ、善光さんは考え方、清水孝彰さんは便益、松原さんは暮らしの変化を数値と声で、それぞれの得意分野を分担してリレー発表しました。こんな発表もみんなの熱い思いがうまくつながっていいですね。

北陸連携並行在来線等活用市民会議からの発表「北陸圏の公共交通と連携」では、これまでいろいろな議論をしてきたものの、共通認識や前提としていたことなどは議論の中にあまり出てこないことが多く、松原さんが改めてまとめたものを聞くと新鮮に感じました。

（休憩）

この後は、リレーで塚谷さんにバトンタッチ。

「交通と環境」公共交通進化論 「LRTが金沢の環境と暮らしを変える」 その2 塚谷 康夫

（休憩）でトイレに入ったら、中で“ゴツついガタイのいい人”に遭遇。その人こそが衆議院議員でありなおかつ現役バリバリのプロレスラーでもある馳浩さんでありました。休憩終了後はその馳浩さんの提言「城下町・金沢を語る」で、前田利家から続く金沢のまちづくりのこれまでと今後のことについて、プロレスラーらしく熱い情熱をもって語ってくれました。「200年前の前田家の都市政策のおかげで今日の金沢市があり、その利便性や米軍の空襲にも遇わなかったほどの名所・旧跡に恵まれた環境を我々は享受している。これと同じように、今の我々の都市政策の実現で200年後の子孫が暮らしやすいまちづくりにしていかなければならない。新幹線が通るだけではダメ。LRTでそれを実現していきたい。」

その後、谷明彦氏（金沢工業大学教授）をコーディネーターに、馳議員、宇都宮さん、谷内さんがパネリストとしてパネルディスカッションとなりました。高齢化社会になると車社会では立ち行かなくなることや、今の車社会の経済がさんざん道路沿いの地主をぬか喜びさせておいて経済的なうまみがなくなると後は野となれ山となれという“焼畑農業”と同じであるという指摘がありました。スケジュールに追われて途中退席の馳議員は「私はカルガリーで2年間生活したことがある。その当時冬季五輪のため建設された路面電車の基盤のため、カルガリーは今や百万都市まで成長した。LRTは必ずや金沢市民の柱となる。また、石川線の廃止反対も腰をすえてやってほしい。」と言いました。

国土交通省はLRTに対して前向きであるそうで、残る障壁は市民の意識と首長の判断が大きいそうです。ガンバレ、金沢！

平成 2 1 年度 第 1 回福井市地域生活交通活性化会議

出席：内田桂嗣
報告：内田桂嗣

日時：平成 2 1 年 7 月 8 日 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0

場所：福井市役所 8 F 会議室

委員：座長 川本義海福井大学大学院准教授

自治会連合会、連合婦人会、老人クラブ連合会、PTA 連合会、ROBA、福井鉄道自動車部、京福バス、まちづくり福井、光タクシー、えちぜん鉄道、県バス協会、県交通運輸産業労働組合、福井運輸支局、県・交通まちづくり課、市・交通政策室

目的：平成 1 8 年 1 0 月度道路運送法改正により、地域の関係者が地域交通を検討する「地域交通会議」のしくみが導入。それに従い多様なニーズに的確に対応した運送サービスを提供し、活力ある地域社会を実現すること。（主にバス交通に関する協議の場）

議事：案件 地域バスの利用状況及び利用促進策について

美山地域バス→芦見ルートと味見ルート（スクールバス+一般混乗 4 往復/日、毎日運行）について、これまで H P の公開、地域審議会出の協力依頼沿線の公共施設に時刻表や運行経路を掲示。今後も沿線の公共施設の利用に配慮したダイヤ、越美北線や路線バスとの接続改善を図ってきます。

案件 海岸地域バスの路線延長及び停留所新設について

- 海岸地域バスのルートの終点を『和布』から『浜住』に変更するとともに数百 m の路線延長をする。バスの待ち環境を改善するため。9 月の新学期から実施。
- こしの医院停留所の新設をしてこしの医院へ通院する人の利便性を向上させる。8 月 1 日を目途に準備でき次第実施する。

案件 美山地域バスのダイヤ変更及び停留所新設について

現在芦見ルートの利用は味見ルートと比較して半分以下である。施設の利用者の利便性を考えて、「リズムの森」及び「そば道場ごっつおさん亭」付近に停留所を新設する。8 月 1 日から実施する。

（出席委員からの意見）

- ・全国的に活性化している路線では利用している人との連携が優れている。具体的な対応策は？
- ・地域の人の意見を取り入れて欲しい。特にダイヤについては必要だ。
- ・P A C D の視点が大切。常に振り返り、事業の修正が必要である。

（内田からの意見）

- ・J R 美山駅では J R と地域バスの乗り継ぎダイヤに配慮が必要だ。また、路線バスの「島停留所」が美山駅から離れている。前回も意見を言ったが、美山駅構内に移せないか。

以上

福井市市民協働推進委員会に参加して

(報告 はたみゆき)

みなさんは市民協働推進委員会という組織があるのをご存知ですか。私は平成20年5月からこの委員(ROBA 代表)として会合に参加しています。この委員会は検討事項や審査事項が非常に多い委員会で、時には月3回開催することもあり、やりがいを実感しています。また、様々な団体さんや市の方と接する機会が多く、「協働」について多くの事を学び吸収しています。この委員会の性格上、審議事項によっては外に漏らせない内容もあり、これまでROBA ニュースで紹介することができませんでしたが、ひと段落したので、これまで委員会で検討してきた内容を簡単に紹介します。



市民活動基金助成事業に関する審査(決定権あり)

市民活動団体に対する助成金について、申請団体の審査(プレゼン審査を含む)を行います。中には市民活動とは全く違うような申請があったり、助成金の支出が怪しい団体があったりもします。審査会は1日ばかりで審査され、助成金額が決まります。(事前書類審査 プレゼン審査 本審査 決定)

ミーティングテーブル(MT)事業に関する検討・調査および審査(決定権なし)

ミーティングテーブルは市民の企画案が市の主催事業として開催可能かが焦点になります。市民発と市役所初の2枠があり、団体側と市の施策が一致した場合、採択され事業として動き出します。平成20年度の市民発は7団体から11提案があり、採択されたのは2団体の2提案でした。ROBAの「カーフリーデーふくい2009」がそのうちの1つです。

市民活動推進における評価の検討および調査

市と市民が協働で行った事業に対する評価で、協働相手はNPOや市民活動団体の限定ではなく、町内会や協会の場合もあります。昨年度はH19年度に実施された89の事業のうち、特徴的な13の事業について庁内アンケートを行いました。アンケート結果からマイナスの意見が出てきた事業に対して、市職員から聞き取り調査を行います。場合によっては協働相手にも聞き取りを行います。

福井市NPO支援センター事業者選定審査(決定権あり)

支援センターの運営を委託するNPO法人の選定審査を行いました。申請団体は2団体あったのですが、どちらの団体も個性を前面に出しすぎて企画が偏っており、基準点に達しなかったため不採用となりました。中間支援組織としての実績に不安が残ること、また資金計画の内容でセンター主催事業が満足に実施できるのか不安が残りました。今年は事業者の選定には至りませんでしたので、平成21年度は市の直営になります。来年以降も選定委員会が開催されますが、中間支援組織としての実績、公平な観点での相談窓口、確実な運営ができる信頼あるNPO法人を選定することが非常に大事だと感じました。

「誇りと夢・わがまち創造事業」協働のまちづくり支援プラン評価委員会(決定権あり)

地域自治会が学生やNPOと行う協働事業に対して評価をします。この支援プランは平成19年度から始まっていますが、審査会を開催して評価を行うのは今年度(H21)からです。この支援プランは助成することを前提として審査を行います。審査点数が一定点数を超えない場合は、提案内容を見直してもらい助成を受けることができます。(場合によっては支援しないこともあります。)今年度は6団体からのプラン提出がありましたが、このうち2団体が審査基準に満たなかったため、プランの見直しを行ってもらっています。地域助成であっても、助成金をもらえて当然ではなく、事業内容をきちんと評価した上で助成をしないと、地域も育たないし、人も育たないので、審査会を開催していくのは良いことだと思います。

モビリティウィーク2009説明会参加しました。

高橋 八州太郎

去る7月2日の午後2時半から4時30分まで東京ボランティア・市民活動センター会議室Bで開催された。今回は1部、2部構成で開催され、昨年より参加者が増えていた。

午後2時30分から3時30分までは、MW&CFDの全般の説明がり、第2部から昨年のMW&CFDアワードの表彰と2008年度の報告、そしてMW&CFD2009の実施にあたっての説明会がありました。

如何に簡単ですがその報告をします。私は第2部の方から参加しました。

最初に昨年のアワードで埼玉市、横浜市、沖縄市がそれぞれ賞を受賞しました。

また、昨年の報告が各地区であり、ROBAとしては2段階で実施したことと、全国路面電車サミットの報告をさせていただき、本年度の活動予定を報告させていただきました。昨年は天候の関係で出来た地区と出来なかった地区があった。名古屋は中止、福井は途中で雨の影響で出来なかった。

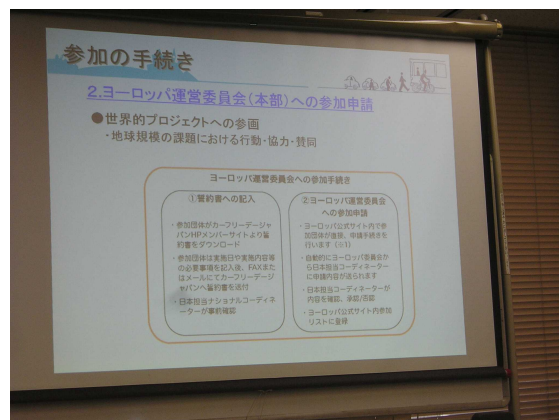
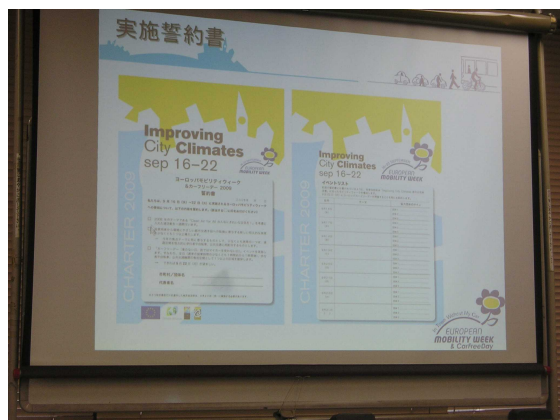
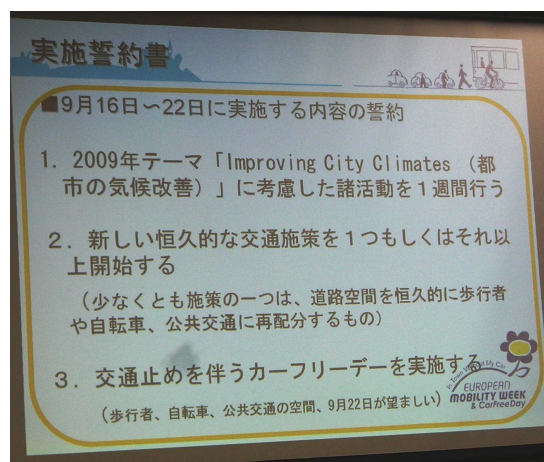
そして、MW&CFD2009は大々的に行うことを発表してもらいました。

さて、MW&CFD2009は以下のようなテーマで行うことが決まりました。

右の3つの条件がありますが、ROBAとすれば、1、2、3とも完璧とはいえませんが、できそうですね。1の都市の気候改善に考慮した諸活動とは、公共交通を積極的に活用するモビリティセンター、レンタサイクルの展開をすることがそれにあたるし、2の新しい交通施策に関しては、子ども100円の提案等ミニ社会実験的なことをすることで対応、3番目の交通止めを「50m」であるが実施することで、何とか3つをこなせるかなと思います。

また、MW&CFDを実施するためにはヨーロッパの本部に申請する必要があります。

今回はフルバージョンでのMW&CFDなので何かの「賞」が狙えそうですね。



上記のような手続きをしなければ、なりません。本年も頑張っていきたいと思います。

平成21年度 第1回越前市地域公共交通会議

出席：三輪裕一
報告：三輪裕一

■日時：平成21年7月10日（金）14：00～16：00

■会場：越前市役所別館2階 大会議室

■委員：議長 川上洋司 福井大学大学院教授

越前市自治連合会会長、民生委員児童委員協議会連合会、武生商工会議所交通運輸事業部理事、越前市老人クラブ連合会副会長、武生東高校 PTA 副会長、武生青年会議所専務理事、ROBA、福井県バス協会専務理事、福井県交通運輸産業労働組合協議会幹事、福井鉄道取締役鉄道部長、福井鉄道自動車部長、ヤマトタクシー代表取締役、越前警察署交通課長、丹南土木事務所管理用地課長、国土交通省中部運輸局福井運輸支局主席運輸企画専門官、福井県総合政策部交通まちづくり課長、越前市企画部長

■協議事項 市民バス（のろっさ）の運行見直しについて

平成19年度20年度と利用者は順調に増加し、市民に定着している。平成22年度からの運行見直しに向け、21年度にも利用者や地域住民の意見を集約しており、その結果をまとめ、改善を図り、22年度の運行からの見直しに反映させる。

- 6月補正予算で低床ロングバス1台を購入の予定、乗車定員33名座席定員18名。
- 年末の通院等の日常生活に支障をきたしているという意見を反映し、年末年始の運休日（現行12月29日～1月3日）について短縮を図る。
- ルート別見直し案・・・ロング型バスの導入により、交差点を曲がりきれない場所地域の要望により、フリー乗降にするところ
福井鉄道電車の新設駅・西武生駅との結節強化
大型店舗、高齢者向けマンションの新築などにより、市街地循環南北、吉野・大虫、坂口・神山、王子保・南の各路線のバス停やダイヤ・路線を変更する。
- 北新庄・国高ルートと北日野・味真野ルートはいずれも運行時間が48分・59分と長く、利用者からストレスを感じるなどの苦情が多いことから、大幅にルートを組み替え、味真野・北新庄ルートと北日野・国高ルートに変更する。これにより両ルートとも運行時間を10～15分短縮できる。
- 旧今立町内を走る月尾線・水間線・服間線については、お互いの乗り継ぎができるよう、ダイヤを見直すとともに、福井鉄道路線バス南越線との接続を改善する。

【各委員からの意見】

福鉄バス・・・フリー乗降については、運転手の裁量で行っている部分もある。あまり拡大すると対応できなくなり、危険である。

川上委員長・・・運転手の教育・研修をお願いしたい。フリー乗降は団地や集落内に限ってもよいのでは。

ヤマトタクシー・・・現実の状況として、フリー乗降はほとんどない。乗客はバス停を意識して乗降しているので、問題ないのではないか。

事務局案を了承したが、より細部の詰めと、ダイヤの確認、乗り継ぎ・結節の確認を求める声が相次いだ。

【三輪の意見】

（味真野・北新庄ルートについて）

良いルートで基本的には賛成だが、北町～戸谷間で、路線バス南越線と重複する。北町や武生東高校で南越線に乗り換えると、JR 武生駅前までの時間が15分は短縮されるはずなので、路線バスとの接続を考えてほしい。路線バスを100円で乗れる65歳以上の福祉バスの制度もあるようなので。

■協議事項 福鉄福武線乗車人員と利用促進事業の状況

21年5月現在の状況説明を了承

■次回はルート決定のための会議、8月24日（月）開催予定

モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009について

今年が3年目の福井のカーフリーデー参加。今年はモビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009として本格参加することになりました。鉄軌道事業者・バス事業者・まちづくり福井・各NPO・福井大学川本研究室との間で、これまで1回の準備委員会と4回の実行委員会を開催し、企画を話し合ってきました。内容は盛りだくさん！ 予定も含め、現在の段階の企画をお知らせします。

●モビリティセンター

場所：福井駅西口交通広場

日程：9月19日（土）から9月22日（火）まで

- 1 バス・電車案内センター 内容：バス乗り場・路線・行きかた等を案内する。
- 2 観光スポット・まちなか店舗案内 内容：マップを配布し市内観光スポットおよびまちなか店舗を案内。グリーンツーリズム紹介も。
- 3 各地のイベント案内 内容：文化的イベント、博物館・美術館イベント一覧を作成。
- 4 まちかどコンサート 内容：アマチュア合唱団・ミュージシャンのミニコンサート。

●レンタサイクル&自転車案内センター / 自転車タクシー試乗

場所：福井駅西口交通広場

日程：9月19日（土）から9月22日（火）まで

内容：自転車12台を使用。りんりんマップを使い啓発。自転車で行ける市内観光ツアーの紹介。

●ROBAパネル展示・福井市交通戦略パネル展示

場所：市役所1Fロビー（9/16～18） 駅西口交通広場（9/19～22）：テント1

日程：9月16日（水）から9月22日（火）まで

内容：パネル展示、資料提供などで必要な情報を提供し、啓発を行う。

●モビリティクエスト1

場所：えちぜん鉄道・福井鉄道・京福バス・福鉄バス・すまいる

日程：9月20日（日）から9月21日（月）まで

内容：子どもが対象。電車やバスに乗って駅やバス停にある「キー」を捜すクロスワードクイズ。

●京福バス・福鉄バス・すまいる バスの日イベント

場所：京福バス・福鉄バス・すまいる

日程：9月20日（日）

内容：子どもを対象にバス1乗車100円。

●えちぜん鉄道・福井鉄道 電車の日イベント

場所：えちぜん鉄道・福井鉄道

日程：9月21日（月）の予定

内容：子どもを対象に電車1日フリー券を100円に。

●電動アシスト自転車の展示・試乗 / 優良自転車 / 3人乗自転車の展示・試乗

場所：展示・試乗 アップルロード

日程：9月22日（火）

内容：サカイサイクルや自転車卸業者、メーカーの協力により展示・試乗。3人乗自転車の試乗。

●バスの乗り方教室

場所：勝木書店横 （受付：アーケード下に机イス、車椅子、ハンディ体験道具一式）

日程：9月20日（日）

内容：バスの実車を配置して、レベルに合わせた体験をしてもらう。

●「かしこい公共交通の使い方」シンポジウム・トークショー

場所：響のホール

日程：9月19日（土）

内容：中学・高校生の作文・小論文を表彰。今尾恵介さん基調講演、トークショーなどを通して啓発。

●エコプラン・福井市環境パートナーシップ会議の環境イベント

場所：アップルロード 日程：9月22日（火） 内容：ハチドリ計画キャンペーン

実施スケジュール

	9/16～9/18 （水）～（金）	9/19 （土）	9/20 （日）	9/21 （月）	9/22 （火）
モビリティセンター					
バス・電車案内センター					
観光スポット・まちなか店舗案内					
各地のイベント案内					
まちかどミニコンサート					
レンタサイクル&自転車案内センター					
自転車タクシー					
福井市役所1階 パネル展示					
モビリティセンター パネル展示					
自転車の展示・試乗					
電動アシスト自転車					
優良自転車・3人乗り自転車					
バスの乗り方教室					
シンポジウム・トークショー					
モビリティクエスト1					
京福バス・福鉄バス・すまいるバスの日イベント					
えちぜん鉄道・福鉄イベント 電車の日イベント					
エコプラン・環境パートナーシップ会議イベント					

【凡例】

	確定		予定		未定
--	----	--	----	--	----

次回の実行委員会は7月22日（水）A O S S Aにて。

以上

★ 友ちゃんの金沢特派員報告 第1号★



作 / 漆寄 耕次

はじめまして。私は福井県出身で現在石川県に住んでいます。「記事を書いて情報提供してみない？」というお話をいただいたので、不定期連載を行わせていただくことになりました。

今回は記念すべき第1回目の記事として、石川県のなかでもメジャーな金沢ではなく、能登方面について取り上げたいと思います。というのも、石川県内では雑誌やテレビなどで能登が取り上げられることが多くなってきているのです！私の周りでも、夏は能登に海水浴に行こう！とか能登井食べに行こう！などなど女友達の誘い文句に能登というフレーズが出るようになってきました。能登の海は本当に澄んでいて、透明度が抜群なんです。能登に興味が湧いてきたでしょうか？夏に出かけてみたくなって来たでしょうか？そんな方への新情報です！

能登にもいろんな市町村がありますが、そのなかでも今回は能登町と珠洲市に関する情報です！

この夏、能登空港と珠洲市・能登町を結ぶ観光客向けのバスが運行されます。その名も「ふるさとバス」。なんとも和む名前のバスです。

このバスは国の地方の元気再生事業を活用して運行されます。

裏技をこっそり教えますね。輪島に遊びに行って、その後バスを乗り換えて珠洲市や能登町方面に遊びに行くことができちゃうんです。この夏はふるさとバスに乗って、ビール片手に奥能登でのんびり過ごすなんていうのもいいかもしれません。(大西友世)



編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「秋のハサガケに向けて、体力アップだー！！」

塚谷(副編集長)

「高校球児の夢が、バス横転事故で・・・」

内田(発行責任者)

「友ちゃん登場ですね！能登ツアーやろうぜ！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>